

同
同
同
同
同
同
同
すかたん

蜂の群らがる花の園
後家には稀な噂サ聞く
米買ふ錢がたらいでも
蛭がゆるめる肩の凝り
棒抜けの犬雲かすみ
呵かられる程猶とちる
古米抱いて金子減らし
象の脊中をさいた蜂
絲が笑てる針の穴
敵の砲撃嘲笑らひ
呵かられるのを何んと聞く
水美クしう秋は去ぬ
神意尊む五十鈴川
密航の邪魔に成た月
鯉譽て汲む囉らい水
袴かき合す後の月
初代の勞を畫に残す

澄わたり
同
同
同
同
同
同
末々迄

同
同
同
同
同
すんでる

變らぬ中がたのもしい
花は老樹の様ふにない
妻楊枝にもなる柳
寺の記録に有る祠堂
手を上げる子の多い教場
最ふ飛行機にない危険
専門外かの學探る
櫃の中まで秋が吹く
留主する小僧怖がらぬ
孝女もかなしない曲輪
出稼キ國で墓地買ふ
華族が別莊京に置く
さのみ高ふも見へぬ不二
もう口笛に附く川鹿
公使の妻も日本服ク
先妻の兄大事がる
貯金さしとく妾の母

同
末思い

同 同 同

啞には多い筐かた分ケ
子孫うらの薄うすい我レ歎なげく
教訓おしなの機母はなが斷たつ

○京之部

京にも田舎

艸くさ蒔まる乙女おんな見る御苑みや

同

農具のうぐ商あきなふ店みせも有ある

同

這出こが笑わらふ亭ていンの屋根

同

種屋たねやに説明せつめい聞きく飛脚ひやく

京へ行

土産みやげ咄はなしに花魁はなぐい買かふ

同

娘むすめ自慢こゝろの癖くせが止とむ

同

曠はれと、のへる荷拵にぎしらへ

同

つい滞在たざいの日ひが延のびる

同

手涕あせかむなと言いいつける

同

言葉ことばの垢かも洗あらへてる

京

娘むすめに好こな帯おビ撰せんらす

同

古跡こせきを譽ほる觀光くわんこう團だん

同

何ニ不自由ふじゆうない金有かねらば

同

旅人宿りょじんしゆくにも金屏風きんびやうふう

京は古郷

参陵さんりやうがてら知己ちんぎも問とふ

同

利益りやく尊たかき八ツやの棟むね

同

今いまに變かわらぬ御式ごしきの地

同

雲祥うんしやうの地ちで御大典ごたいでん

同

言葉ことばつかひで知る旅館りやうかん

京の賑にぎひ

小便せうべんン取りとりまで多用たようがる

同

眼まなこに千金せんぎんの御忌詣ごよみよみ

同

氏子うぢこの外ほかかも家体けたい出す

同

拜觀はいくわん許ゆるりる御式ごしき跡あとト

紀念發行 冠句千代の壽終

大正五年五月十日印刷
大正五年五月十五日發行

信時庵

著者 金聲宗匠

發行者 中村淺吉

京都市上京區富小路通
三條北福長町八番戶

印刷者 南谷新之助

大阪市西區北堀江下通
一丁目六番地

印刷所 南谷活版所

大阪市西區西橫堀御池
橋西詰南へ入

不許複製

京都市富小路三條通北へ入

發行所 中村風祥堂

振替大阪 壹五八壹貳番
一五八一貳番

信時庵金聲宗匠撰

冠句千代壽

鶴巢齋松羅宗匠撰

四六判
和綴
正價貳拾錢 郵稅四錢

冠句鳴川千鳥

打睡庵山雄宗匠撰

四六判
倭綴
正價拾五錢 郵稅四錢

冠句風月集

打睡庵山雄宗匠撰

四六判
倭綴
正價拾五錢 郵稅四錢

冠句明月集

打睡庵山雄宗匠撰

四六判
倭綴
正價拾五錢 郵稅四錢

冠句菊の露

信時庵双羽宗匠撰

四六判
倭綴
正價拾五錢 郵稅四錢

冠句十萬集

信時庵双羽宗匠撰

四六判
倭綴
正價拾五錢 郵稅四錢

信時庵双羽宗匠撰

冠句京にしき

四六判
倭綴
正價拾五錢 郵稅四錢

信時庵双羽宗匠撰

冠句京土産

四六判
倭綴
正價拾五錢 郵稅四錢

千歲堂老師宗匠撰

冠句返り咲

四六判
倭綴
正價拾五錢 郵稅四錢

松月庵互友宗匠撰

冠句花くらべ

四六判
倭綴
正價拾五錢 郵稅四錢

芳井馬有撰

冠句虫目鏡

假綴
正價七錢 郵稅貳錢

冠句自詠博覽

四六判
倭綴
正價拾貳錢 郵稅四錢

冠句
書入

冠句秀吟五百題

四六判
倭綴

正價拾貳錢 郵稅四錢

冠句四季の花

四六判
倭綴

正價拾貳錢 郵稅四錢

冠句冠附集

四六判
倭綴

正價拾貳錢 郵稅四錢

曲亭馬琴翁新版
藍亭青藍宗匠增補

增補 俳諧歲時記葉草

四六假綴
全四冊

正價貳拾五錢 郵稅四錢

阿心庵永織宗匠撰

俳諧獨あるま

折本

正價拾五錢 郵稅四錢

冠句菊の香

近刻



終

